

11:00-12:00 子どものための音遊びワークショップ

『シンセサイザーで自分だけの不思議な音を作ってみよう』講師:松武秀樹

ヤマハのバーチャルアナログシンセを実際に触ってながら、シンセサイザーの音がどのように作られているのかを学び、実際に自分の音を作ってみよう。次世代にシンセサイザーの楽しさ、奥深さを伝えたい！親子で楽しめること請け合いです。子ども24人限定、幼児から中学生まで受講可。(子ども無料/付き添い大人ひとり1000円 ※小学生以下は必ず大人1名以上の付き添いをお願いします。)

12:00-13:30 CLUB JAZZ 屏風・公園ライブ 観覧無料 仙川駅前公園にて(雨天変更あり)

吉田隆一(b-sax)/笠村勇樹(sax)/黒谷都(人形遣い)/横手ありさ(vo)/落合康介(ba,馬頭琴)/新人Hソケリッサ!(dance) 他
“JAZZ ART せんがわ”で生まれた「CLUB JAZZ 屏風」！世界へ羽ばたく世界一小な劇場の親密なるライブ空間でのスペシャルな演奏を、一度体験するべし！公園でのんびりするもよし、演奏に参加するもよし！そして今回は路上を知り尽くしたダンスカンパニー「新人Hソケリッサ！」が仙川の街に出没？！

14:00-15:00 ⑨『テクノ・ヴォイスの誕生—The Birth of Techno Voice』

ヒカシュー 1978 [巻上公一(vo,b)/三田超人(g)/井上誠(syn)/山下康(syn)/戸辺哲(sax)]+松武秀樹(syn)

“YMO第4の男”の異名を持つシンセサイザー・ミニチュレーター・第一人者松武秀樹と、メロトロンやリズムボックス、シンセサイザーを駆使したテクノポップを牽引したヒカシューのオリジナルメンバー5人が47年の時を経てついに共演！！

16:30-17:30 ⑩『音の十字路』細井徳太郎(g)/原田節(ondes martenot)/ホスト:坂本弘道(cello, etc)

凡そ100年の歴史を誇る電子楽器「オンド・マルトノ」の第一人者 Takashi Haradaと新世代の最重要ギタリスト細井徳太郎。ソロ、デュオ、トリオ、完全初共演でお送りする楽器の不思議、即興の妙。

19:00-20:00 ⑪『Jazz After Matter — 即興は物質を越えてゆく音なり』

JAZZ ART Quintet [巻上公一(vo,theremin)/坂本弘道(cello, etc)/藤原清登(double bass)/坂口光史(syn)]+Christophe Charles(electronics)

トリを務めるのはJAZZ ARTせんがわのプロデューサー4人による即興演奏！！さらに電子楽器、シンセサイザー、フィールドレコーディングを用いた実験的な演奏で独自の道を行くChristophe CharlesがJAZZ ART初参加！！

14
SUN



Peatixでチケット発売中!!

A 1日券:8000円 9/12,13,14(日指定) **B 土日券:15000円** 9/13,14(両日入場可) **C 全日通し券:20000円** 9/11,12,13,14(全日有効)
※9/13『大人のためのシンセワークショップ』と9/14『子どものための音遊びワークショップ』は別途入場券が必要です。

D 1日券②~⑪の1ライブ鑑賞チケット

一般:前売り3500円(当日3800円)/高・大学生:前売り2500円(当日3000円)/小・中学生:前売り1500円(当日2000円)

E 1日券①『John Zoen's COBRAの鑑賞チケット』

一般:前売り4000円(当日4500円)/高・大学生:前売り3000円(当日3500円)/小・中学生:前売り2000円(当日2500円)

※ 踊布市民劇、身障者+付き添い1名割引あり。通し券は、**A** 8000円引き **B** 1500円引き **C** 2000円引き。1日券は、**D** **E** どちらも各500円引き。
※ 踊布市民劇は市内在住・在学・在勤がわかるもの、及び身障者手帳を当日受付にてご提示ください。

☆自由即興 演奏参加費1000円

★9/13 大人のためのシンセワークショップ 3500円 ※30名限定、高校生以上

★9/14 子どものための音遊びワークショップ 子ども(幼児から中学生)無料/付き添い大人ひとり1000円 ※小学生以下は必ず大人1名以上の付き添い。

『JAZZ ART せんがわ』を応援する!! **グッズ付き指定席チケット** 応援チケットの詳細はWebサイトをご覧ください。

総合プロデューサー:巻上公一 プロデューサー:藤原清登/坂本弘道/坂口光史
『CLUB JAZZ 屏風』デザイン・キュレーター:長峰麻貴 公園キュレーター:大隅健司
舞台監督:山添ヒロユキ 音響:GOK SOUND 照明:阿野昌代
アートディレクション:大内智聡 宣伝イラスト:イソノウコ 写真:池田まさあき 映像:岩本晴二
主催:JAZZ ART実行委員会 共催:踊布市/特定非営利活動法人LAND FES
助成:公益財団法人かがはし芸術文化振興財団/アーツカウンシル東京(芸術文化魅力創出助成)
楽器提供協力:株式会社ヤマハミュージックジャパン お問い合わせ:jazzartsengawa2020@gmail.com

✉@jazzartsengawa 📷@newjazzartsengawa 📺jazzartsengawa 📺JAZZ ART SENGAWA official



せんがわ劇場
SENGAWA THEATER
東京都調布市仙川町1-21-5(京王線仙川駅より徒歩4分)

JAZZ ART せんがわ 2025

9.11 thu. 12 fri. 13 sat. 14 sun. 調布市せんがわ劇場ほか

feral
野生に還る音
intimate
親密な関係
alive
生きる芸術

JAZZ
ART+
SENGAWA
2025

Peatix



チケットはこちら!

JAZZ ARTせんがわ



公演詳細はこちら!

エレクトロニクスと奇抜をテーマに
生成AIになしえない極北のインプロヴィゼーション
武骨で予測不能な人間力を原動力に
親密な音の世界がふつつつ煮えたぎる
仙川で最高の音楽体験に参加しよう

第18回 JAZZ ART せんがわ 2025

2025年9月11日(木)～14日(日)

会場：調布市せんがわ劇場

仙川駅前公園 (CLUB JAZZ 屏風のみ)

12:30-14:00 自由即興 I 観覧無料

一般公募ミュージシャンにJAZZ ARTせんがわプロデューサー陣を加えてのスペシャルセッション!!
プロ・アマ問わず、自分の楽器を持って大集合。問合せ: jazzartsengawa2020@gmail.com

19:00-19:20 オープニングセレモニー 観覧無料

19:30-21:00 ①『戦術は反響する—Tactical Feedback』

John Zorn's Cobra JAZZ ART SENGAWA 作戦 エレクトロニクス部隊

坂口光央 (syn) / 山本達久 (ds) / 有馬純寿 (electronics) / 直江実樹 (radio) / okachiho (computer) /
本藤美咲 (b-sax) / 秋山Bob大知 (electronics) / 山川冬樹 (khoomei, etc) / 神田佳子 (perc) / ヨシガキルイ (g)
プロンプター: 巻上公一

複数のミュージシャンのためのゲーム理論を応用したジョン・ゾーンの代表作「John Zorn's COBRA」。
メンバー全体の意思疎通によって予測不可能な演奏が進行していく。この日限りの特別メンバーによるJAZZ ART SENGAWA作戦が開催される。



12:30-14:00 自由即興 II 観覧無料

15:30-16:30 ②『ザムザは何本足で歩行する—Samsa Walks (But How?)』

カフカ肝 [石橋英子 (p, fl) / ジム・オルーク (syn, g) / 山本達久 (dr)] + 巻上公一 (vo, theremin)

それぞれが独立した確固たる世界を持ちながら、多角的なアプローチと自由な発想によりこのメンバーでしか実現できない独自の世界に到達するカフカ肝 + 巻上公一。彼らのライブは、即興演奏の醍醐味が詰まった常に新しい体験である。

18:00-19:00 ③『海峡に龍脈の兆し—Signs of a Dragon Vein in the Strait』

太平楽 [四家卯大 (cello) / 田中邦和 (sax, 笛, 他) / 佐藤直子 (perc)]

+ ウンシル・ノ (パンソリ / 韓国) + スーホ・ムーン (人形 / 韓国)

即興演奏、パンソリ、人形劇が融合した、知性と野生が交錯するユニークでスリリングな舞台。小さなハルモニウムと共に歌われるパンソリ、韓国の伝統文化とチェコの人形劇を結び付けた繊細で美しい人形が、太平楽の完全即興の演奏と共に新鮮で力強いエネルギーを生み出す。

20:30-21:30 ④『身体とプログラミングβ—physical and programming β』

SF deck [坂口光央 (syn) / 野本直輝 (computer) / okachiho (computer)]

アナログシンセサイザー他様々な発信機をよりフィジカルに演奏する坂口光央と、コンピューターによるライブコーディングなど発音の仕組みにフォーカスしながら演奏をする野本直輝とokachihoによって音の重みと方法の狭間を演奏する電子トリオ。



11
THU

11:00-12:30 ⑤ 特別上映『トワイライツ』& ライヴパフォーマンス『わたしのともだち』

『トワイライツ』

(1994年 / 天野天街監督作品 / 16mm / 33分 主演: 石丸だいち)

ドイツ・オーバーハウゼン国際短編映画祭グランプリ受賞

『わたしのともだち』

石丸だいち (dance) / かんばらけんた (車椅子ダンサー) / 仙石彬人 (TIME PAINTING, visuals) /

坂本弘道 (sound)

スクリーンを飛び出して石丸だいちが行く、多くのアーティストから大注目仙石彬人、キレッキレのダンサーかんばらけんた、まだ見ぬ親愛なる「他者」と共に。

14:00-15:00 ⑥『庭師の夢に呼吸あり—Breath in the Gardener's Dream』

庭師の夢 [今西紅雪 (箏) / Rhizottome (ARMELLE DOUSSET: acc & MATTHIEU METZGER: s-sax) /

仙石彬人 (TIME PAINTING, visuals)] + 石川高 (笙)

フランス人デュオRhizottome (アコーディオン&ソプラノサックス)と箏奏者・今西紅雪、ビジュアルアーティスト仙石彬人が織りなす、圧巻のヴィジュアルコンサート。互いの音楽・芸術への深いリスペクトが、庭に張る根のように目に見えない繋がりとなり生命力となり、オリジナルな世界を生み出す。さらに笙奏者・石川高の参加によりその響きは深く遠く静かな極地へと向かう。

16:00-17:00 ⑦『声帯がよじのぼり、鍵盤が飛び跳ねる—Urban Larynx, Forest Keys』

片倉真由子 (p) / 坂口光央 (syn) / 赤い日ル女 (vo) / 巻上公一 (vo) / 大隅健司 (vo)

日本のジャズシーンを牽引するピアニスト片倉真由子と、シンセサイザーをはじめ様々なデジタル発信機材を縦横無尽に操る坂口光央、そこに他を寄せ付けぬ3つの声の世界が出会い立ち現れる。

18:30-19:30 ⑧『連絡先: 三重奏—Contact Triplets』

坂田明 (sax, vo) / Gene Jackson (ds) / 藤原清登 (double bass)

自由すぎるサックス、坂田明。世界を股にかけるグルーブ・マスター、Gene Jackson (ドラム)。深みと遊び心を兼ね備えたベース、藤原清登。ジャズと即興の真髄が交差する、唯一無二のトリオ。

20:30-21:30 大人のためのシンセワークショップ

『シンセサイザーの魅力、富田勲の秘伝からYMOの秘密まで』

講師: 松武秀樹 (synthesizer)

“YMO第4の男”松武秀樹さんが、シンセサイザーの魅力について語ります! あの音は、この音は、どのように作られたのか? その創造秘話から、実際の作り方まで、ヤマハのバーチャルアナログシンセも使って解説いたします。実際にあの音が目の前で奏でられる衝撃! 滅多にないこの機会をお見逃しなく!! (参加費一人3500円、高校生以上30名限定)



12
FRI

13
SAT